

問題・解答 用紙番号	31
---------------	----

の解答用紙に解答しなさい。

数 学 ②

〈受験学部・学科〉

3科目型 受験者 **3科目型と2科目型の併願受験者**

法学部, 国際学部, 経済学部, 経営学部, 現代社会学部, 理工学部, 薬学部,
農学部【理系型・文系型】

2科目型 受験者

理工学部(住環境デザイン学科【理系型】・建築学科・都市環境工学科・機械工学科・電気電子情報工学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の問1～問4の空欄 ～ に当てはまる整数を0～9から1つ選び該当する解答欄にマークせよ。ただし、分数は既約分数で表せ。また、根号を含む形で解答する場合は、根号の中にあられる自然数が最小となる形で答えること。たとえば、 $4\sqrt{2}$ と答えるところを $2\sqrt{8}$ のように解答しないこと。(40点)

問1. k を定数として、2次方程式 $2x^2 - kx + k - 3 = 0$ の2つの解を α, β とする。

$$\alpha^2 + \beta^2 = 2 \text{ であるとき, } k = \text{ } \text{ であり, } \alpha^3 + \beta^3 = \frac{\text{ }}{\text{ }} \text{ である。}$$

問2. $\frac{1}{\sqrt{2} + \sqrt{3}i} = \frac{\sqrt{\text{ }}}{\text{ }} - \frac{\sqrt{\text{ }}}{\text{ }} i$

問3. 四角形 ABCD は円に内接している。AB = 5, BC = 1, CD = $\sqrt{7}$, $\angle ABC = 60^\circ$ である

とき, $AC = \sqrt{\text{ } \text{ }}, \angle CBD = \text{ } \text{ }^\circ$ である。

問4. x は $\frac{1}{81} \leq x \leq 27$ を満たす実数である。このとき、 $\log_3 x$ がとり得る値の範囲は

— $\boxed{\text{シ}}$ $\leq \log_3 x \leq \boxed{\text{ス}}$ である。また、関数 $f(x) = \log_3 x \cdot \log_3(9x) - 6$ は、

$x = \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソ}}}$ のとき最小値 $-\boxed{\text{タ}}$ をとり、 $x = \boxed{\text{チ}} \boxed{\text{ツ}}$ のとき最大値 $\boxed{\text{テ}}$ を

とる。

Ⅱ 次の空欄 (ア) ~ (ネ) に当てはまる整数を 0 ~ 9 から 1 つ選び該当する解答欄にマークせよ。ただし、分数は既約分数で表せ。(35点)

放物線 $y = 3x^2 + 6x + 1$ を x 軸方向に $\frac{5}{3}$, y 軸方向に 2 だけ平行移動して得られる放物線 C の方程式を $y = f(x)$ とすると,

$$f(x) = \boxed{\text{ア}} x^2 - \boxed{\text{イ}} x + \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$$

である。 p は $f'(p) \neq 0$ を満たす実数とする。点 $(p, f(p))$ における C の接線の方程式は

$$y = \left(\boxed{\text{オ}} p - \boxed{\text{カ}} \right) x - \boxed{\text{キ}} p^2 + \frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$$

である。この接線と x 軸の交点を $(q, 0)$ とすると,

$$q = \frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}} p + \frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}}$$

である。

数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = 3, \quad a_{n+1} = \frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}} a_n + \frac{\boxed{\text{チ}}}{\boxed{\text{ツ}}}$$

($n = 1, 2, 3, \dots$)

で定める。 $b_n = a_n - \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{テ}}}$ とおくと、数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{チ}}}$ の等比数列になるので、

数列 $\{a_n\}$ の一般項は

$$a_n = \frac{\boxed{\text{ツ}}}{\boxed{\text{テ}}} + \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{チ}} \cdot \boxed{\text{ニ}}^{n-1}}$$

である。また、 $a_n - \frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}} < \frac{1}{1024}$ を満たす最小の自然数 n は $\boxed{\text{ヌ}} \boxed{\text{ネ}}$ である。

Ⅲ 次の空欄 (ア) ～ (チ) に当てはまる整数を 0～9 から 1 つ選び該当する解答欄にマークせよ。ただし、分数は既約分数で表せ。また、根号を含む形で解答する場合は、根号の中にあらわれる自然数が最小となる形で答えること。たとえば、 $4\sqrt{2}$ と答えるところを $2\sqrt{8}$ のように解答しないこと。(25点)

3点 O, A, B があり、 $OA = OB = 1$, $\angle AOB = \frac{\pi}{3}$ である。 m は $0 < m < 1$ を満たす実数とする。線分 OA を $m : (1 - m)$ に内分する点を P とし、線分 OB を $(1 - m) : m$ に内分する点を Q とする。

\vec{OP} と \vec{OQ} の内積は、 $m = \frac{\text{(ア)}}{\text{(イ)}}$ のとき、最大値 $\frac{\text{(ウ)}}{\text{(エ)}}$ をとる。

線分 AB を 1 : 3 に外分する点を R とすると、 $\vec{OR} = \frac{\text{(オ)}}{\text{(カ)}} \vec{OA} - \frac{\text{(キ)}}{\text{(ク)}} \vec{OB}$ である。

3点 P, Q, R が一直線上にあるとき、 $m = \frac{\text{(ケ)}}{\text{(コ)}} - \frac{\sqrt{\text{(サ)}}}{\text{(シ)}}$ である。また、 \vec{PQ} と \vec{PR}

が垂直であるとき、 $m = \frac{\text{(ス)}}{\text{(セ)}} - \frac{\sqrt{\text{(ソ)} \text{(タ)}}}{\text{(チ)}}$ である。

計 算 用 紙

計 算 用 紙